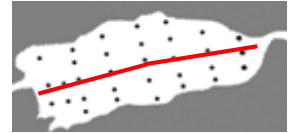


2026年6月 宍道湖 塩分・溶存酸素

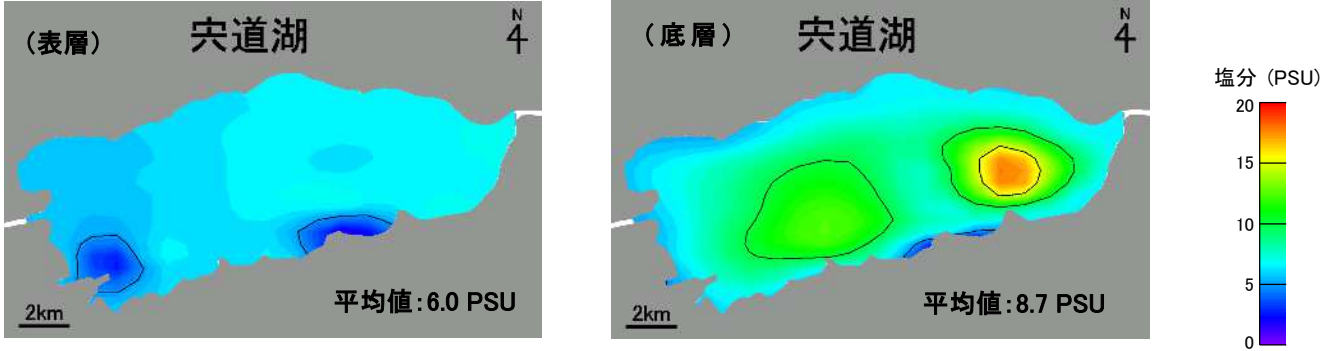
水域	調査日	天候	風向風速	水温 (表層平均)
宍道湖	2026年6月9日	曇	東北東 3.1m/秒 →東北東 4.7m/秒	24.1℃

● 調査地点 — 鉛直ライン



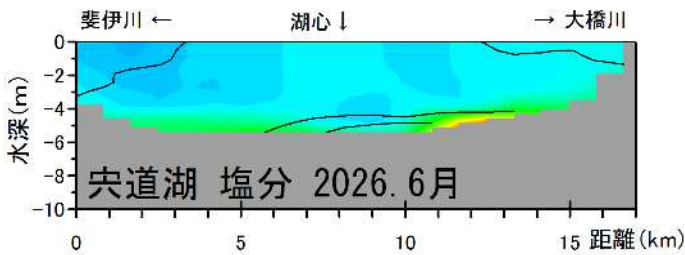
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



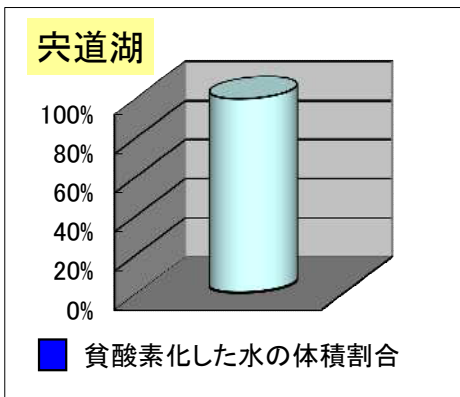
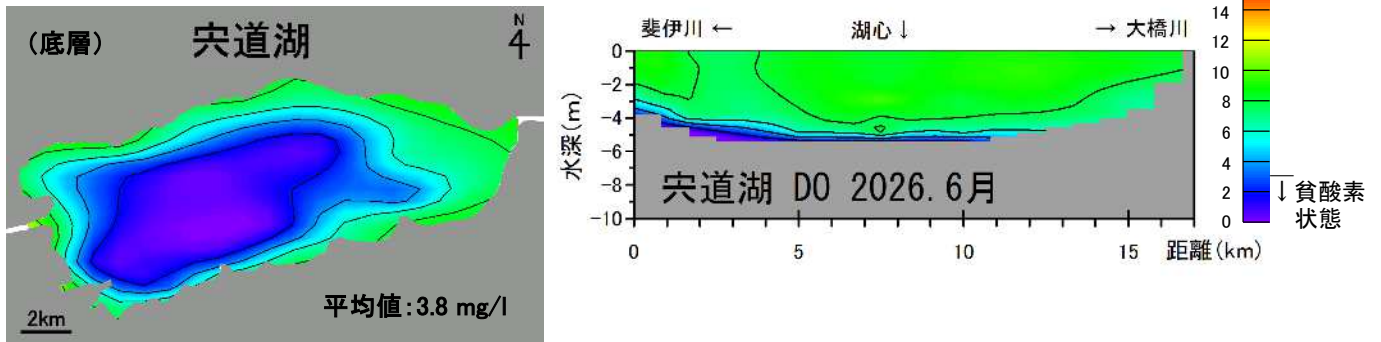
※塩分のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



塩分は、表層、底層ともに先月比べて上昇しており、平年値を上回った。表層は西部から東部にかけて徐々に高くなっている。底層は6~9PSUの範囲が広がり、特に東部には10PSUを越える水域も観測された。(『R8年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



3.0mg/l を下回る貧酸素水塊の体積割合は0.9%と低いが、底層に広く、薄く広がっていた。
溶存酸素の平均値は3.8mg/lであり、徐々に低下している。
(『R8年度水質状況』を参照)。

● R8年度水質状況

